

令和7年1月17日

保護者各位

入善町立入善西中学校
校長 松田 勝仁

学校の教育活動に関するアンケート結果について

厳冬の候 保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、学校教育に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。いただきました意見に対しての取組と今後の改善点、アンケート集計結果をまとめましたので、お知らせいたします。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

アクションプラン1：主体的・対話的に授業に取り組む態度を身に付ける

- ・授業のまとめや振り返りを基に「分かったこと」や「できるようになったこと」「疑問に思うこと」等について「自分の言葉で発表したり、伝えたりすることができた」と答えた生徒の割合が80%以上になることを目指す。

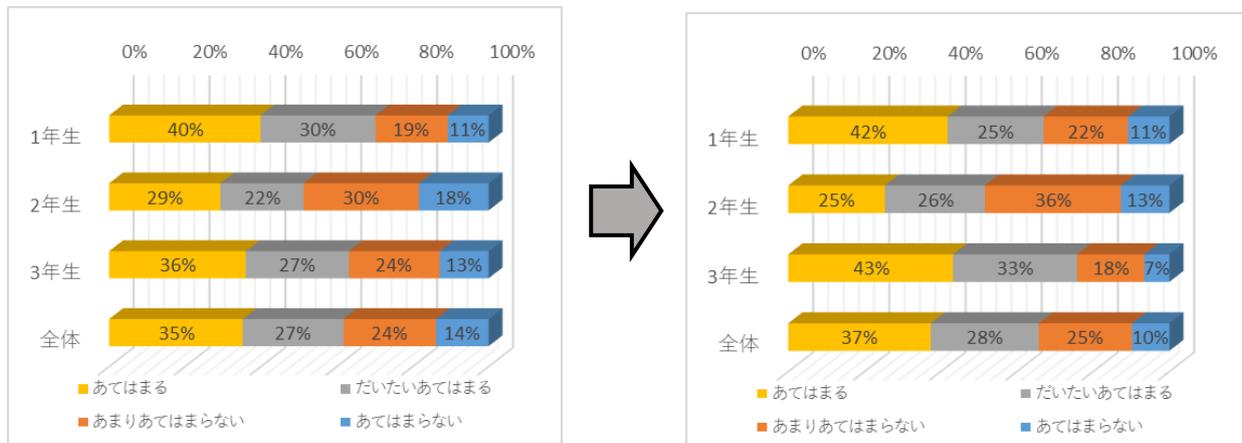
アクションプラン2：生徒の自己有用感を高める

- ・i-checkにおいて、自己有用感に関する項目に対して「よくある」、「ときどきある」と答える生徒の割合が75%以上を目指す。

☆アクションプラン1について

令和6年度 授業アンケート結果（生徒集計データ）

授業のまとめや振り返りを基に、「分かったこと」や「できるようになったこと」「疑問に思うこと」等について、自分の言葉で発表したり、伝えたりすることができましたか。



【結果の概要】

- ・1学期と2学期を比較して、3年生で肯定的な回答が大きく増えた。
- ・設定した目標値「80%以上」に対して、1学期62%、2学期65%と、目標を達成することができなかった。
- ・2年生の肯定的な回答が「50%前後」と、低い状態が続いている。

【考察】

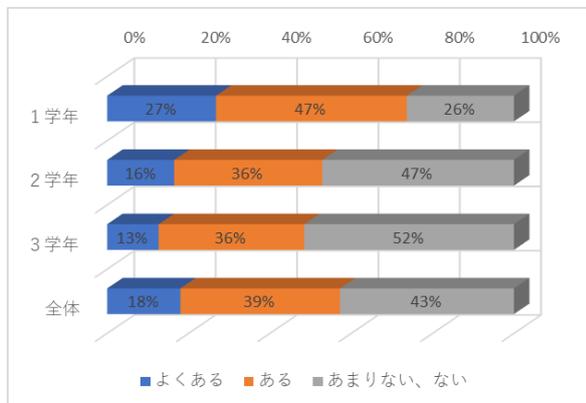
2学期は、行事に向けた取組や学級会の開催数の増加等のため、学級で協力する機会が増えました。その影響もあり、授業でも気軽に意見交換をすることにつながった可能性があります。今後、さらに数値を伸ばすためには、生徒自身が自己の学習活動を振り返ったり、授業の中で自分自身の成長や理解が分かたりするような授業展開の工夫をしていく必要があると考えます。今後も引き続き、毎回の授業の振り返りを大切に、1時間の中で「分かった」「できた」「なぜ」を言いやすい環境をつくり、学び合える集団を築いていきたいと思ひます。

☆アクションプラン2について

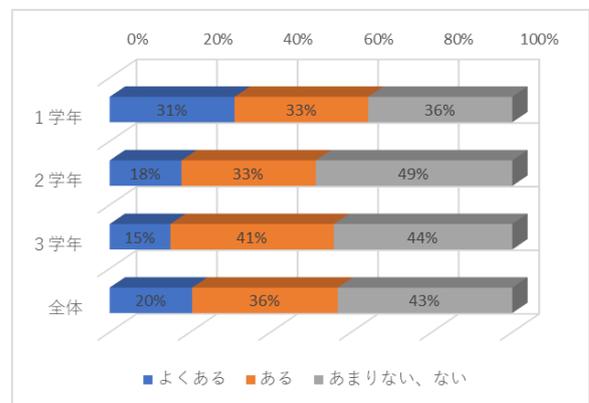
令和6年度 i-check 調査結果（生徒集計データ）

自己有用感に関する3つの項目（「クラスが自分を注目してくれる」「自分の発言がクラスを動かす」「期待されている・頼られている」）で「ある」「よくある」と答える。

6月調査



11月調査



【結果の概要】

- ・自己有用感に関して高い数値を得ることができなかった。
- ・学年によっては上がっていると捉えることができるが、全体としては目標値の「75%以上」を達成することができなかった。

【考察】

昨年度も自己有用感に関する項目で「よくある」、「ある」と答えた生徒の割合は全学年で約60%にとどまったが、今年度も同様の割合でした。しかし、3年生では「よくある」「ある」の合計が8%上がっています。これは2学期で行われた体育大会や合唱コンクールで自分たちの頑張りを認め合えたからだと考えます。行事だけではなく、休み時間や委員会活動等で他学年をリードし、活動することで自己有用感が高まる傾向にあると考えられます。来年度は1、2年生も後輩をリードしていくことで今以上に自己有用感が高まるのではないかと思います。一人一人の生徒にとって居心地のよい学校となるように、生徒それぞれに応じた多様な活躍の場を確保していきたいと思えます。



☆学校における具体的な方策

学習指導

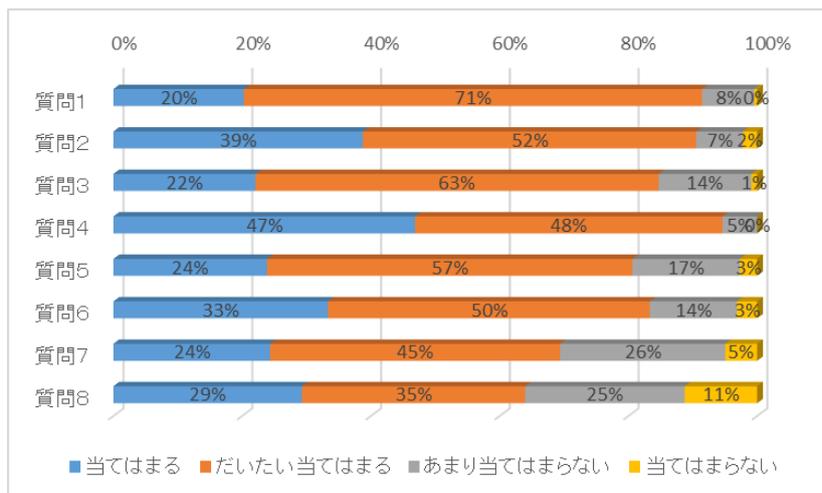
- 友達と意見交換をしたり、互いの技能を確認したりして、友達の考えや技能等に触れ、比較検討する機会を十分に確保する。また、自分の考えや技能等を論理的に説明し、伝え合う活動を適時適切に取り入れる。
- 本時の重点をまとめ、単元における自己の学びを振り返り、新たな課題を発見したり、自分の分からない箇所を自覚したりする活動や方法を工夫する。

特別活動（自治的活動）

- 学級活動や学校行事等において、生徒が主体となった企画、運営を行う。
- 学級会や代議員会、生徒総会を通して、意見交換を密にし、生徒会執行部、実行委員会、学級それぞれの連携を図り、自治的活動の充実を図る。
- 生徒一人一人が目標をもち、成就感や達成感を味わうことのできるような学校行事や活動の機会を確保する。また、その活動を振り返り、互いに「認め」「励まし」「感謝」し合う場の設定をする。

☆保護者アンケートより

質問1	学校は生徒が意欲的に授業に取り組むように指導している。
質問2	学校は学級活動や部活動、学校行事等において、生徒が主体的に活動し達成感や充実感を感じることができる様々な機会を設定している。
質問3	学校は望ましい家庭習慣(規則正しい生活習慣に基づいて)が身に付くよう指導している。
質問4	学校は生徒の実態を、各種たより、ホームページを通じて定期的に家庭に伝えている。
質問5	お子さんは意欲的に授業に取り組んでいる。
質問6	お子さんは、学校行事や学級活動、委員会活動等に意欲的に取り組み、達成感や充実感を味わっている。
質問7	お子さんは早寝・早起き等、規則正しい生活をしている。
質問8	お子さんは各種たよりをその都度保護者に見せている。



【結果より】

- ・「質問1」「質問2」等は90%以上の方から好評価をいただきました。しかし、「当てはまる」だけに絞ると数値としては高くはないです。特に学習面に関してはアクションプラン1でもあるように学びを伝えることを通して、学校と家庭の学習につながりをもって取り組めるようにしていきます。
- ・「質問7」では約70%のお子様ができているという回答ですが、一部のお子様で生活習慣の乱れが見られました。「質問8」では他の項目と比較すると全体的に「当てはまらない」割合が高くなっています。特に3年生になると受験関係の重要な書類がたくさん配布されますので、普段から各種たよりを確認していただければと思います。

【自由記述より】

○授業への意欲的な取組について

- ・「質問1」「質問5」については、「先生主導になっている」「課題の出し方の工夫を」という意見がありました。また「教科によって」という意見が多くありました。今後は授業の中で、生徒が主体的に活動する場を多く設け、家庭学習の充実を図り、「分かる・できる」喜びが実感できる授業を目指していきます。

○睡眠や規則正しい生活について

- ・「質問7」については、「メディアの使用によって就寝時刻が遅くなっている。」「睡眠時間が足りていない」という意見がありました。引き続き、学校でもSNSのルールの遵守や家に帰ってからの時間の使い方等、自己管理できるよう指導していきますので、ご家庭でも声かけをお願いします。

※ たくさんの保護者の皆様から、多くの意見を聞かせていただきました。アンケートの結果を各学年で十分参考にさせていただき、生徒一人一人がよりよい学校生活を送ることができるよう支援していきたいと考えております。